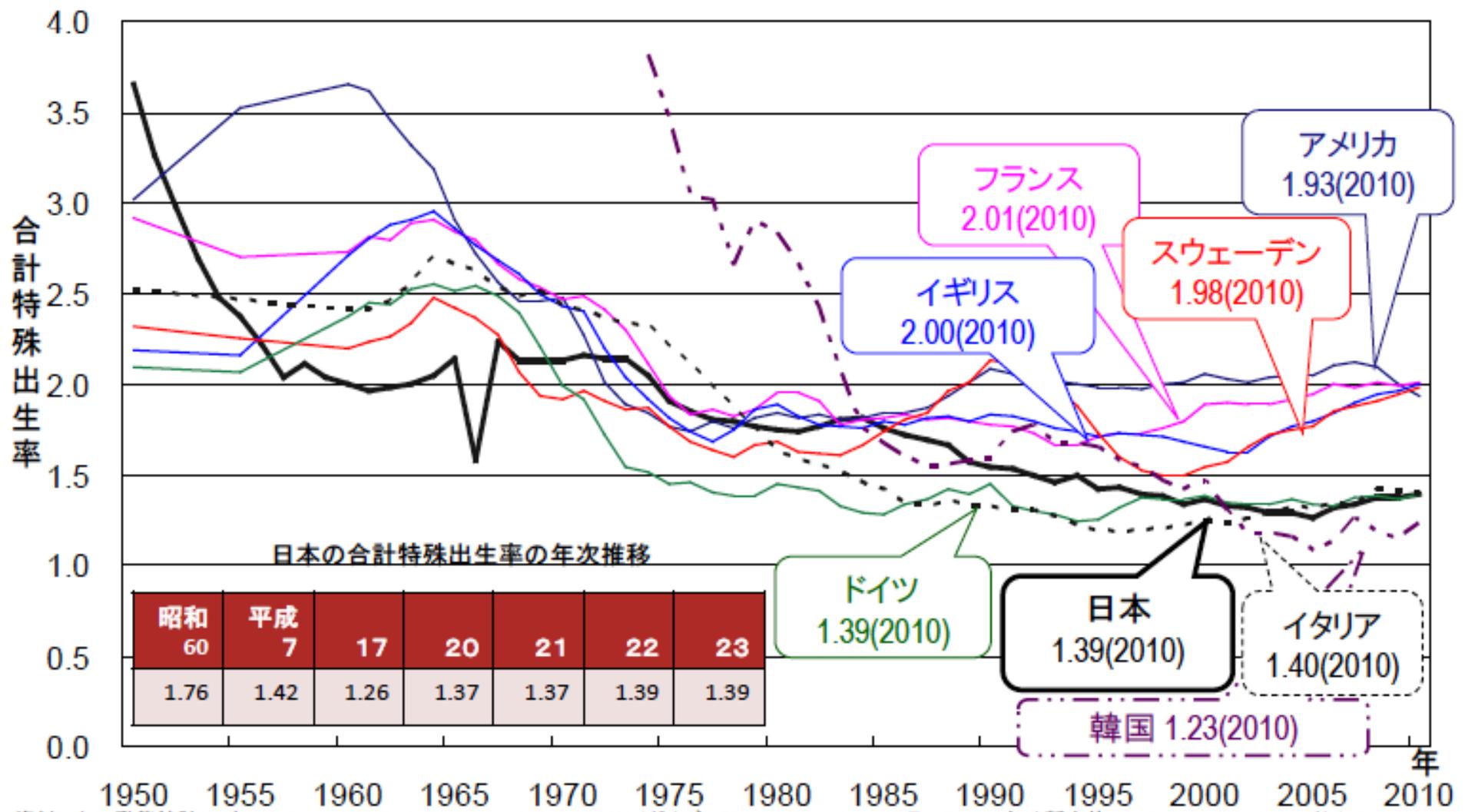


図1 諸外国の合計特殊出生率の推移

基本目標3 **参考資料3**
 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかえなえる

我が国の合計特殊出生率を諸外国と比較すると、ドイツや南欧・東欧諸国、アジアNIESとともに、国際的にみて最低の水準となっている。



資料：人口動態統計(日本)、Births and Deaths in England and Wales, 2010(イギリス)、Bilan démographique(フランス)2010年は暫定値、Statistisches Bundesamt(ドイツ)、Demographic indicators(イタリア)、Summary of Population Statistics(スウェーデン)、National Vital Statistics Reports(アメリカ)、Birth and Death Statistics in 2010(韓国)

基本目標3
若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかえなえる

図2 都道府県別合計特殊出生率

神奈川の合計特殊出生率は全国平均を下回っており、全国ワースト4位の数値となっている。

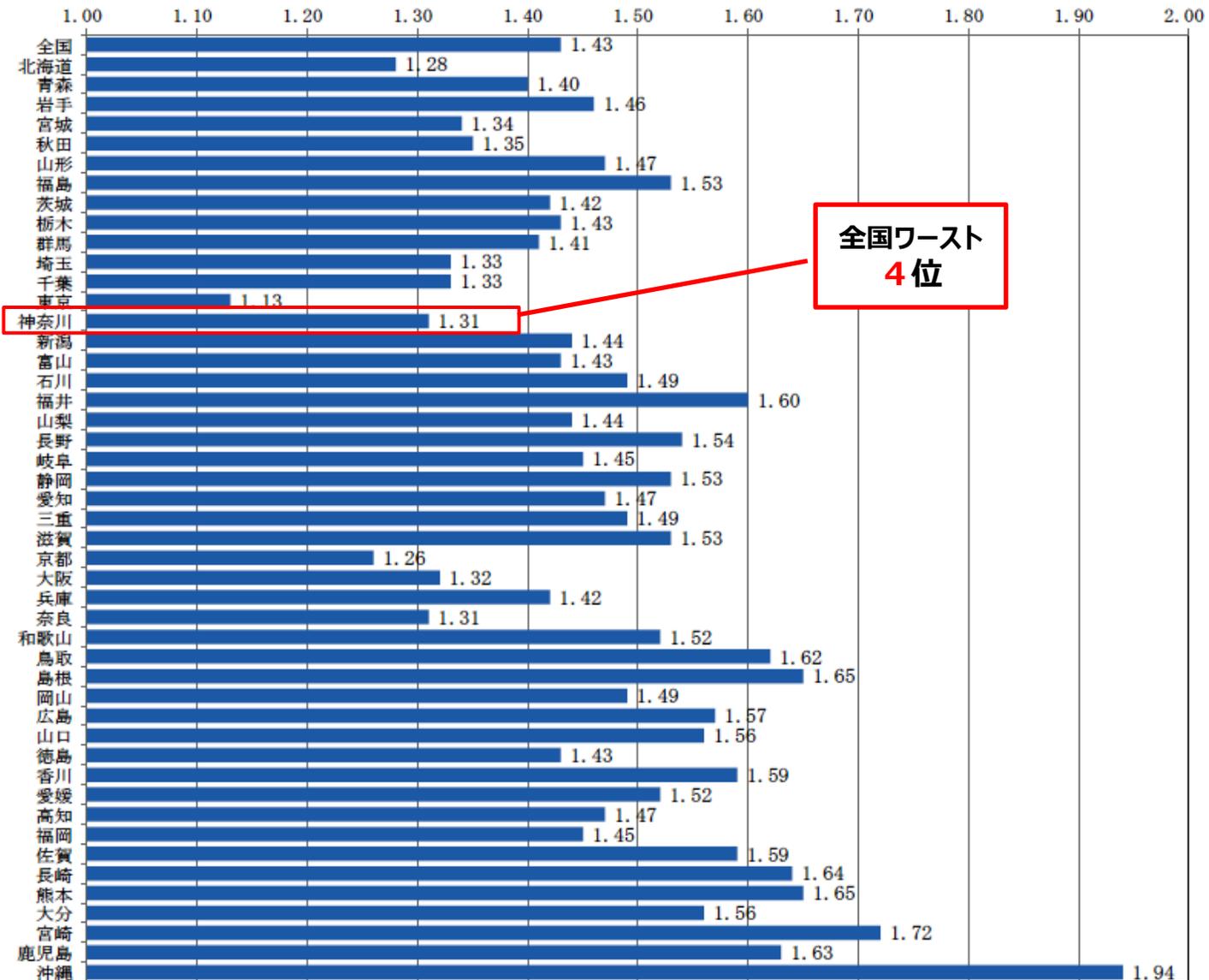
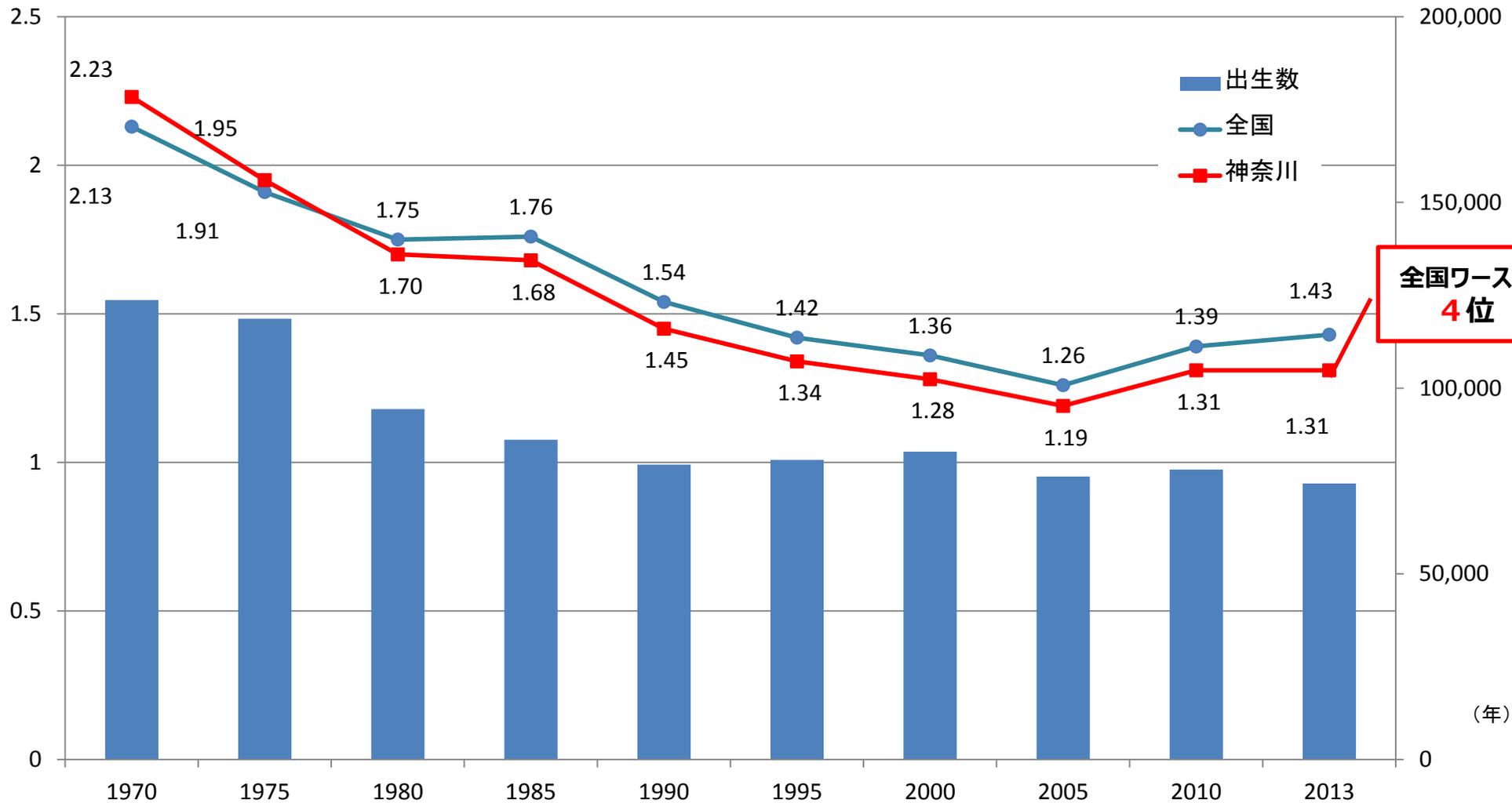


図3 合計特殊出生率と出生数の推移

神奈川の出生率は全国を下回る傾向が続いている。近年は、全国の傾向と同様にわずかながら回復傾向にある。

基本目標3
若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかえなえる



全国ワースト
4位

(厚生労働省「人口動態統計」、県「神奈川県衛生統計年報」から作成)

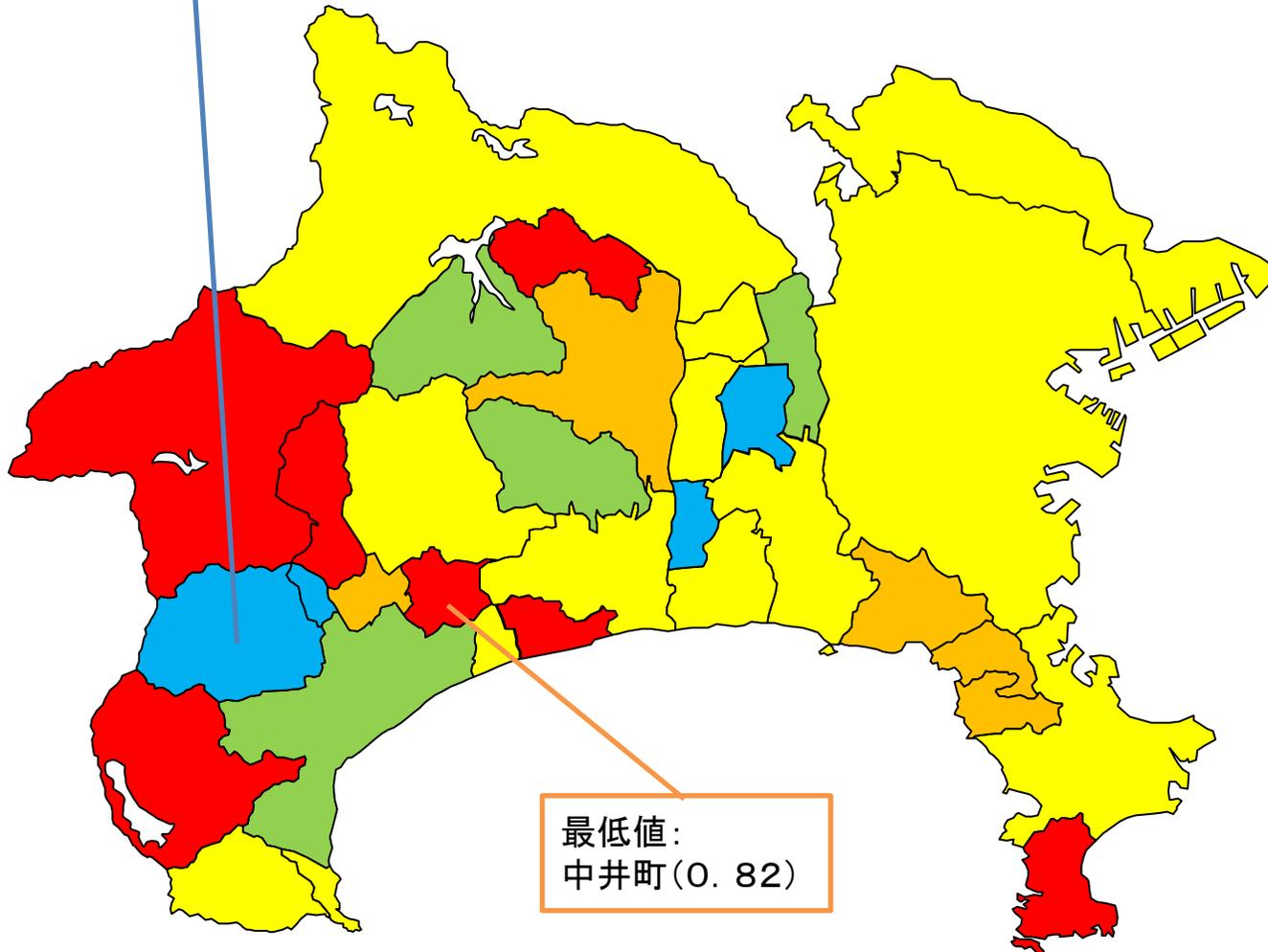
基本目標3

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかえなえる

図4 市町村別合計特殊出生率

県西地域や三浦半島地域に出生率の低い地域が見られるが、全体傾向はまだら模様である。

最高値：
南足柄市(1.46)



最低値：
中井町(0.82)

合計特殊出生率(2012年)

神奈川県	1.27		
横浜市	1.27	葉山町	1.18
川崎市	1.28	寒川町	1.41
相模原市	1.23	大磯町	1.10
横須賀市	1.30	二宮町	1.25
平塚市	1.25	中井町	0.82
鎌倉市	1.20	大井町	1.20
藤沢市	1.31	松田町	1.17
小田原市	1.33	山北町	1.00
茅ヶ崎市	1.29	開成町	1.45
逗子市	1.19	箱根町	0.88
三浦市	0.88	真鶴町	1.28
秦野市	1.22	湯河原町	1.28
厚木市	1.20	愛川町	1.03
大和市	1.36	清川村	1.33
伊勢原市	1.32		
海老名市	1.27		
座間市	1.26		
南足柄市	1.46		
綾瀬市	1.39		

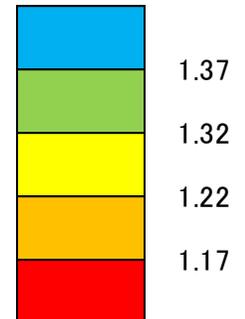
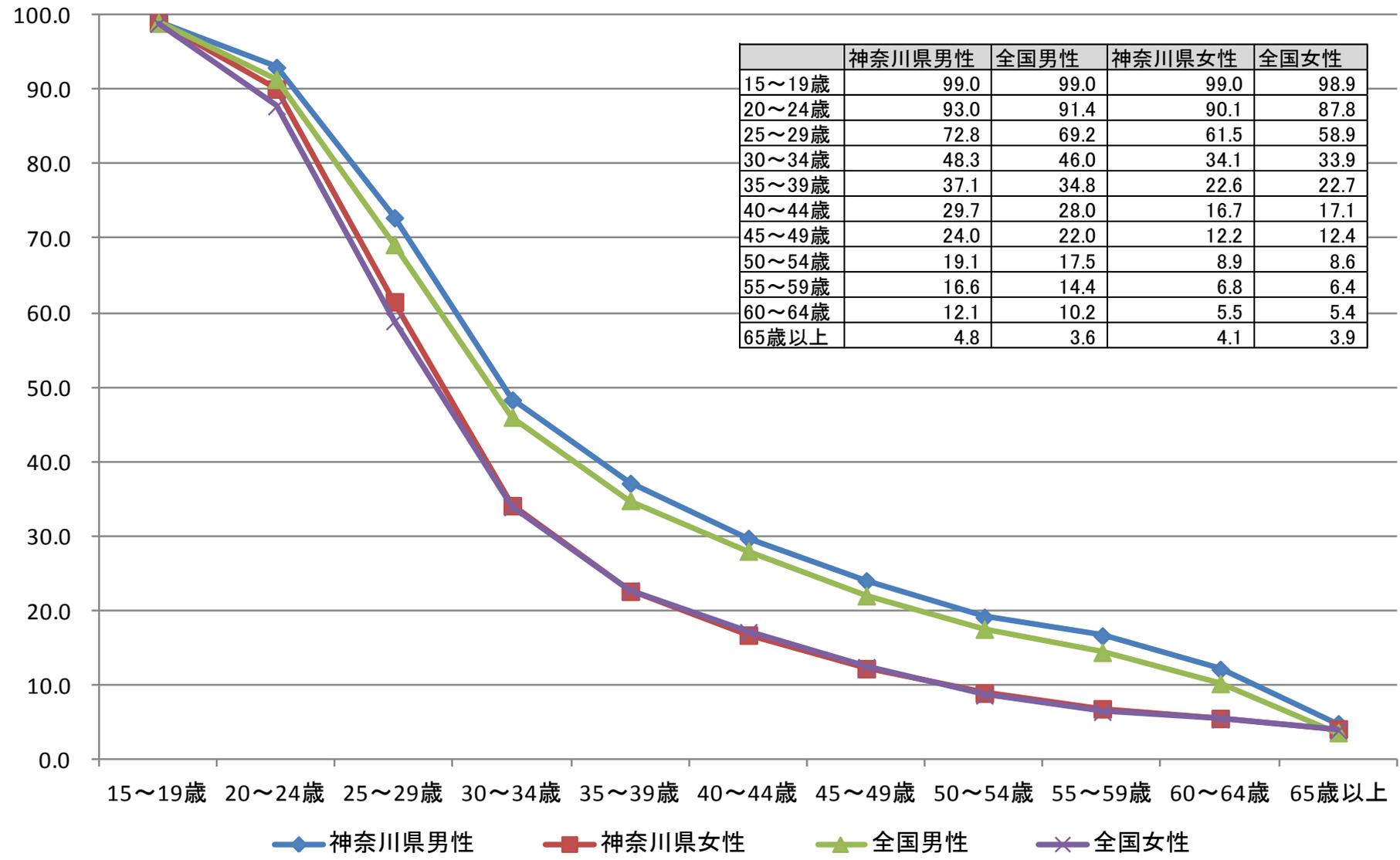


図5 年代別の未婚率（全国と神奈川の比較）

基本目標3
若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかえなえる

神奈川の年代別の未婚率を見ると、女性は全国平均と同程度である一方、男性は全国平均よりも1～2ポイントほど高い。

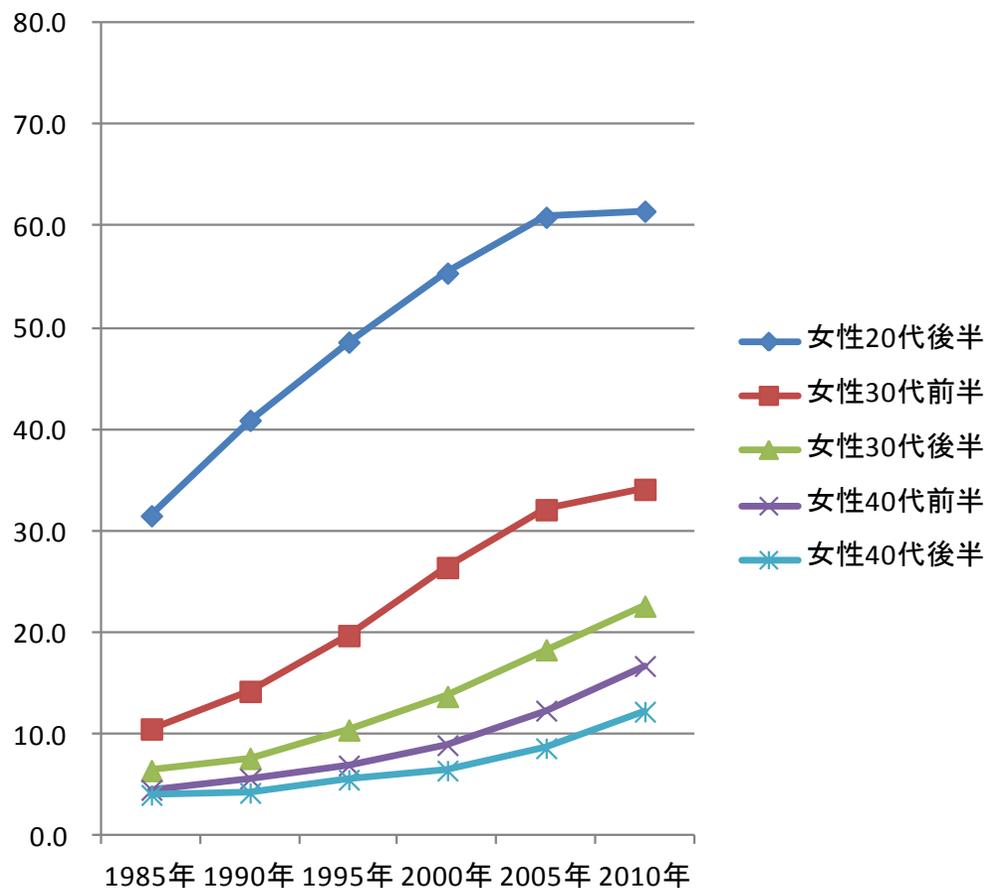
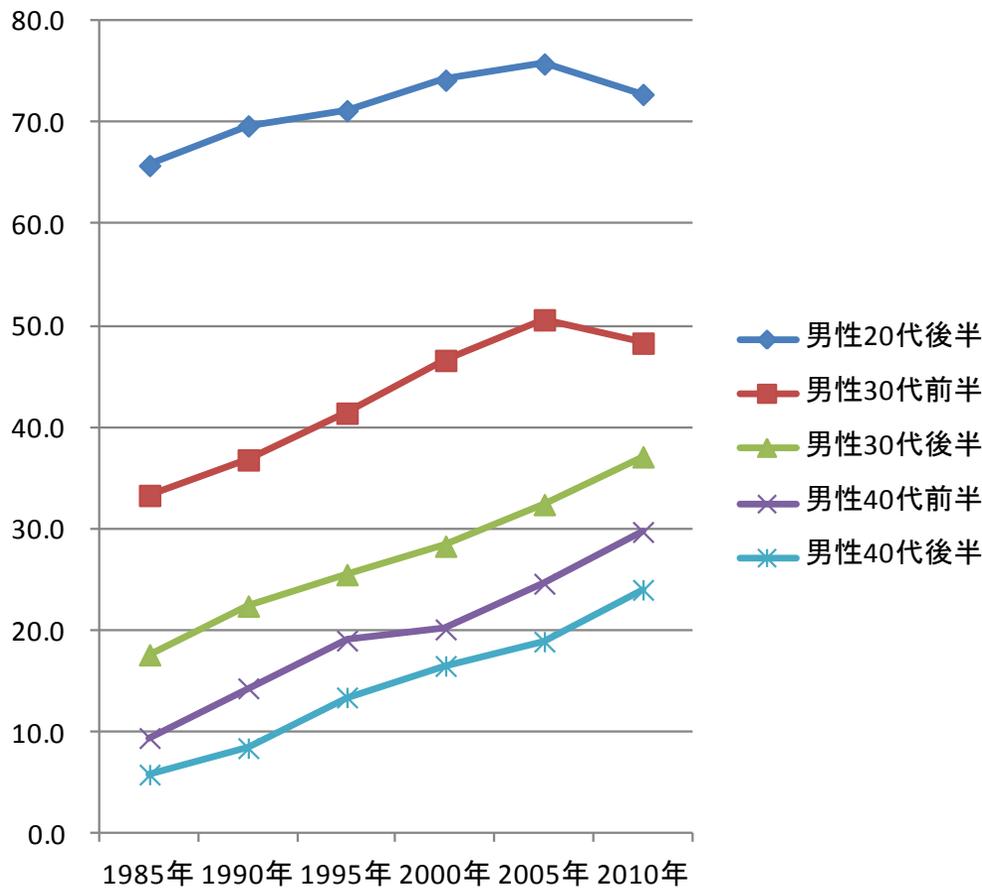


(出所)総務省「平成22年国勢調査」

基本目標3
若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかえなえる

図6 年代別の未婚率（経年変化）

性別・年代別の未婚率の経年変化を見ると、20代後半・30代前半については男女とも頭打ちの傾向がある一方、それ以降の年代は増加が続いている。

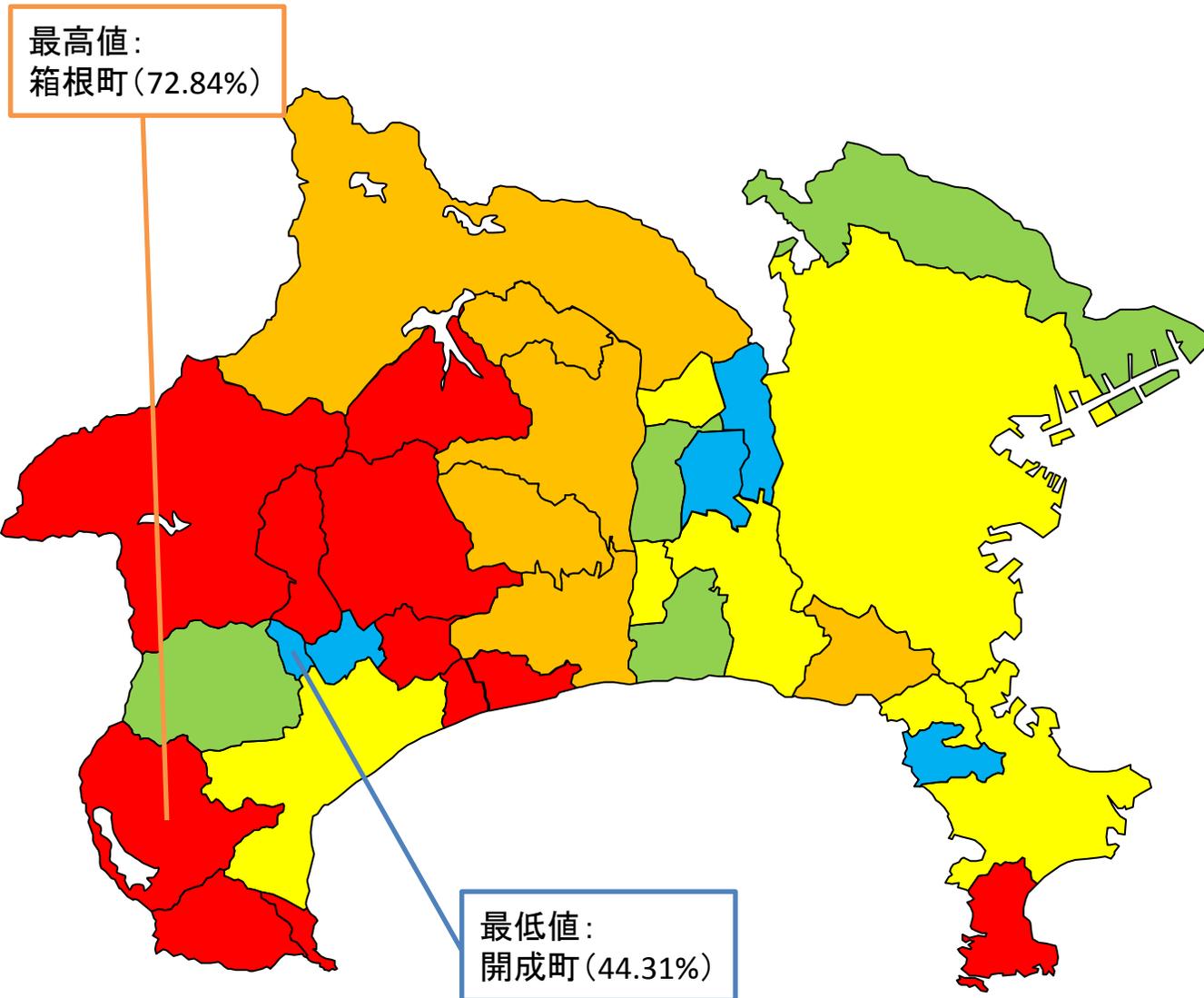


(出所)国勢調査

図7 市町村別未婚率（20~39歳男女）

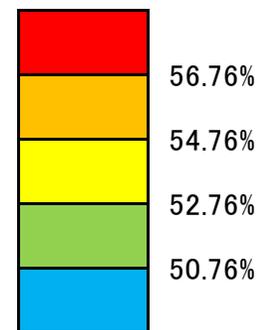
基本目標3
若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかえなえる

県西地域や三浦半島地域に未婚率の高い地域が見られる。



市町村別未婚率(2010年)

神奈川県	53.76%	葉山町	50.44%
横浜市	54.02%	寒川町	53.18%
川崎市	51.63%	大磯町	57.37%
相模原市	55.05%	二宮町	56.95%
横須賀市	54.64%	中井町	57.86%
平塚市	56.69%	大井町	47.06%
鎌倉市	54.97%	松田町	61.77%
藤沢市	54.27%	山北町	64.95%
小田原市	53.94%	開成町	44.31%
茅ヶ崎市	51.32%	箱根町	72.84%
逗子市	53.91%	真鶴町	64.02%
三浦市	58.93%	湯河原町	57.28%
秦野市	58.43%	愛川町	55.15%
厚木市	56.48%	清川村	65.28%
大和市	50.32%		
伊勢原市	55.34%		
海老名市	51.19%		
座間市	53.79%		
南足柄市	52.11%		
綾瀬市	50.37%		

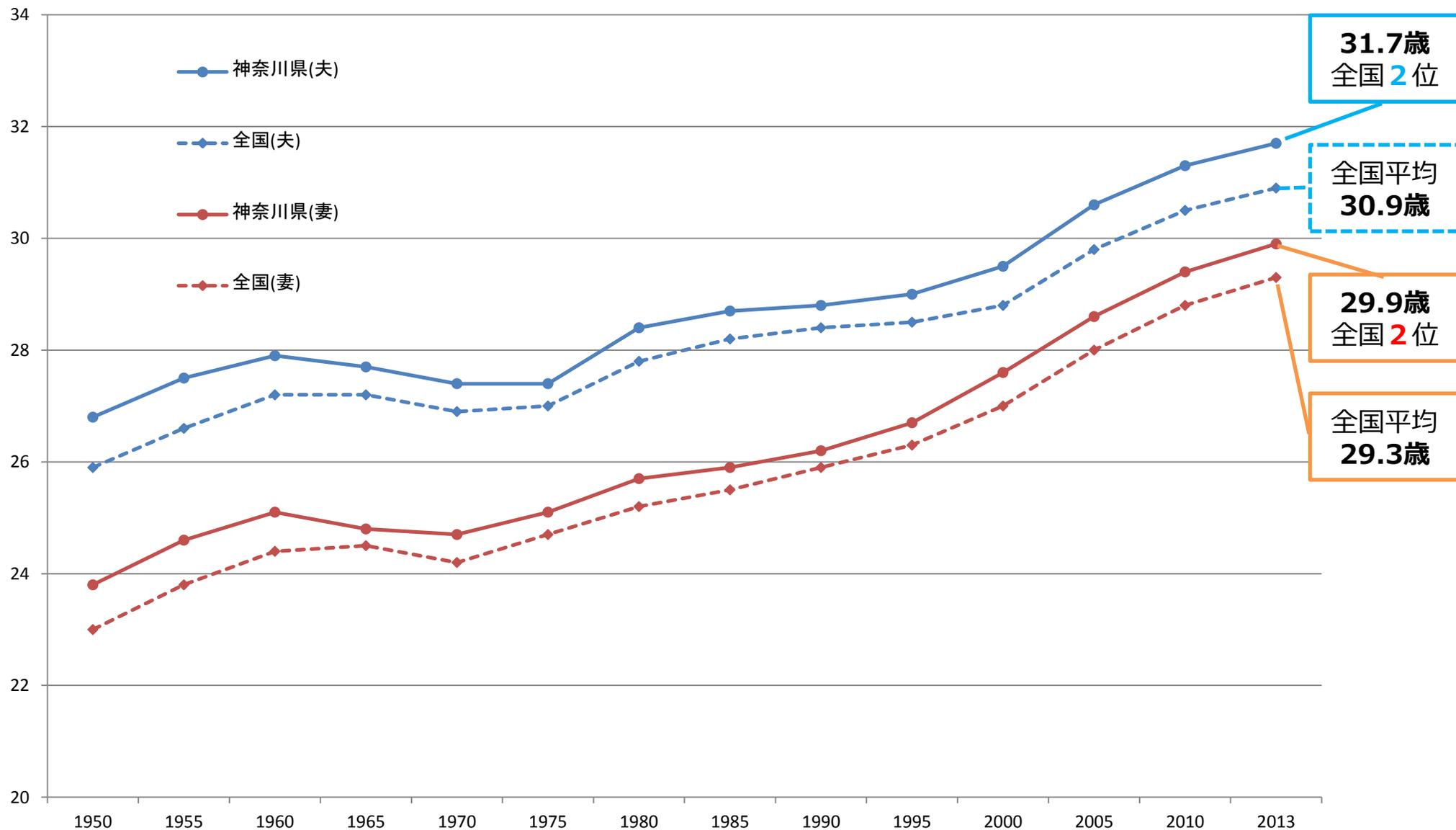


(総務省「国勢調査」から作成)

図8 神奈川の平均初婚年齢の推移

平均初婚年齢は男女ともに全国平均を上回って推移しており、男女ともに東京に次いで全国2位という高い水準となっている。

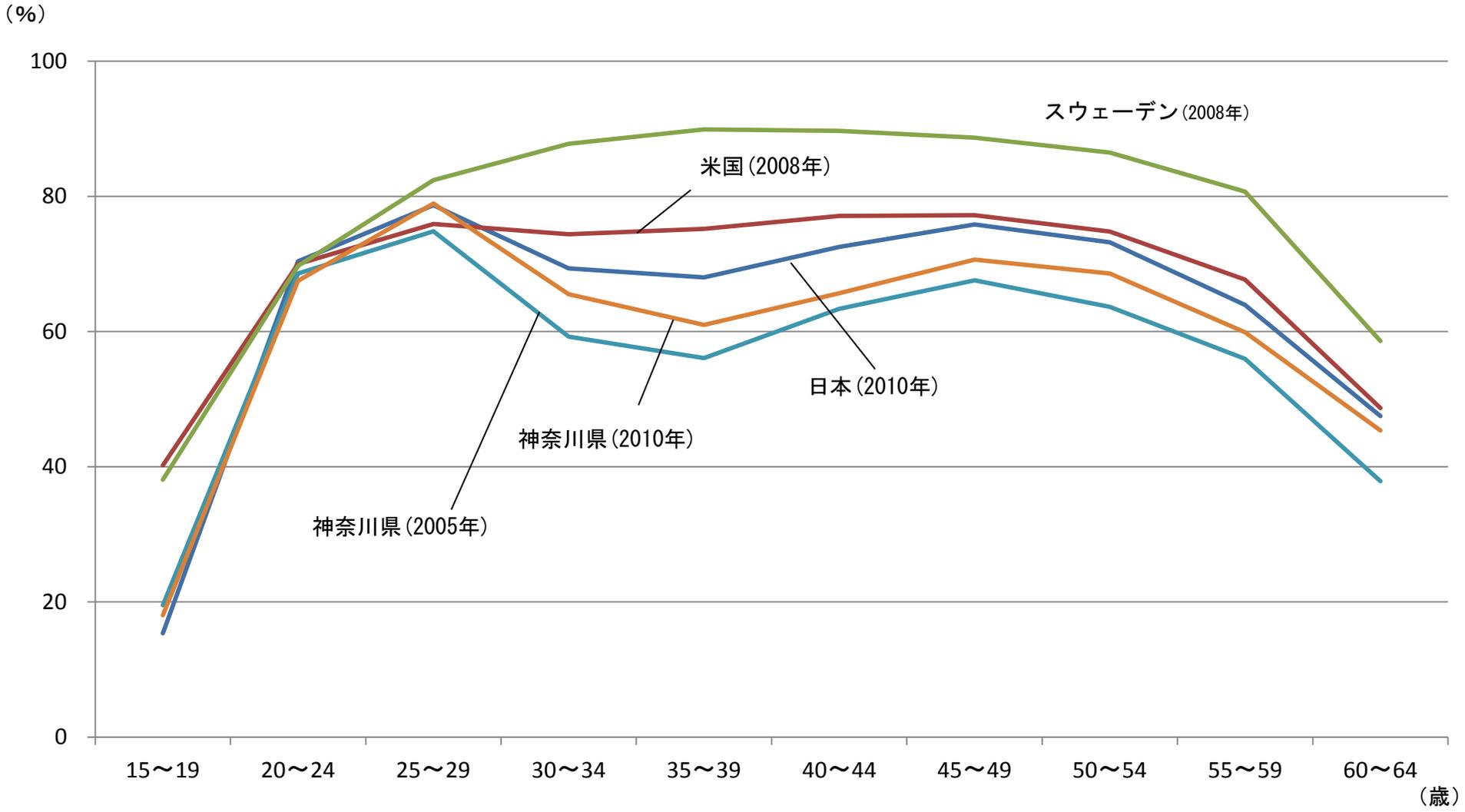
基本目標3
若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかえなえる



基本目標3
若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかえなえる

図9 女性の年齢階級別労働力率

本県の女性の労働力率は全体として全国平均よりも低く、特に30歳から40歳代が低く、いわゆるM字カーブの底が深くなっている。



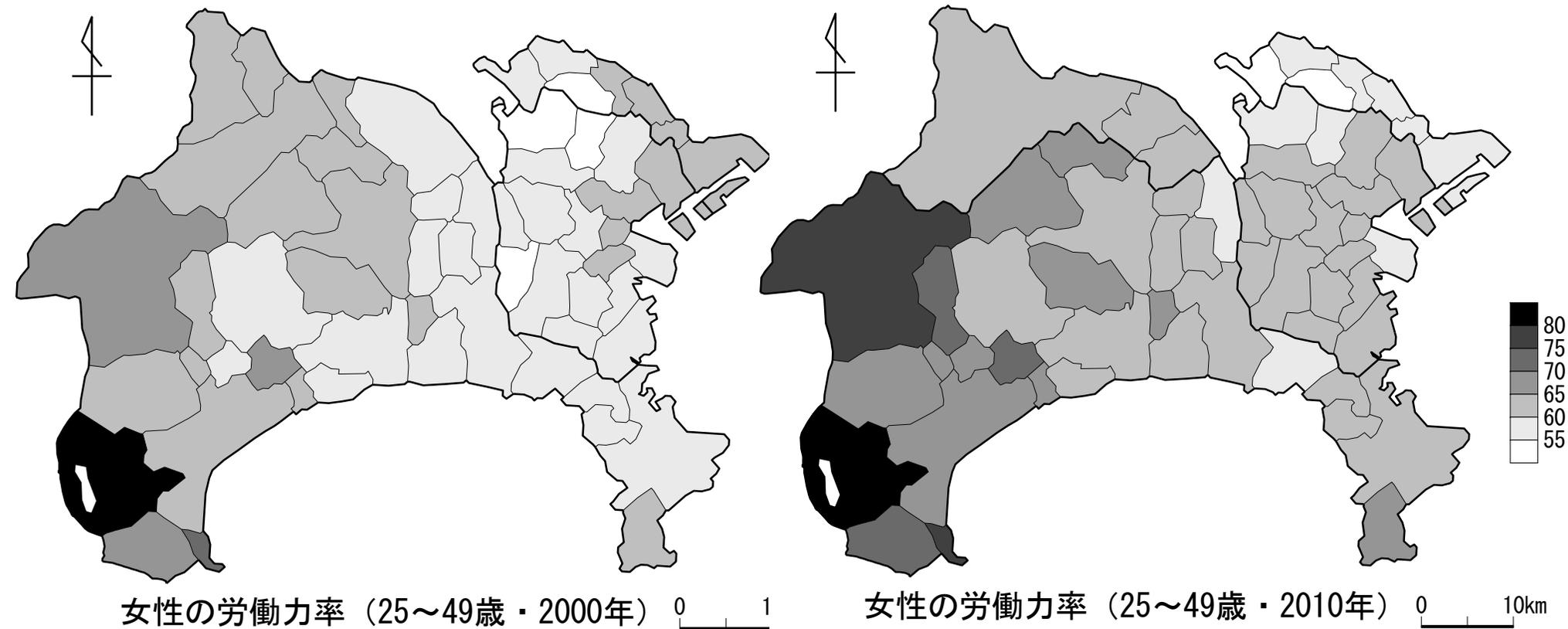
(神奈川県、日本全国は「国勢調査」、米国及びスウェーデンはILO「LABORSTA」より作成)

図10 市町村別25～49歳女性の労働力率

県西地域ほど25～49歳女性の労働力率が高まる傾向があるものの、直近10年間で横浜・川崎地域でも5ポイントほど労働力率が増加。

基本目標3
若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかえなえる

直近10年間における市町村別の25～49歳の女性の労働力率の変化



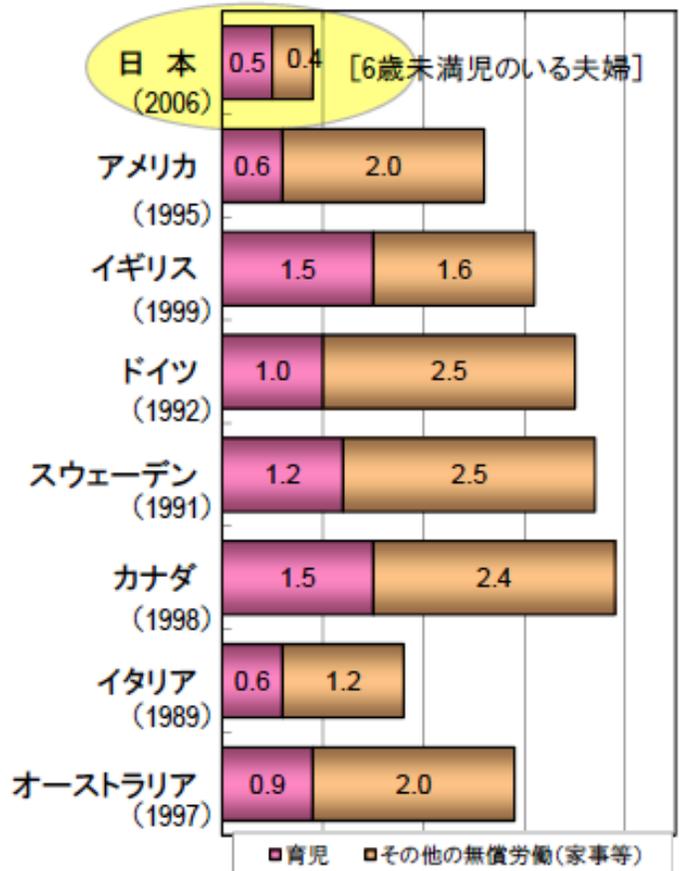
(出所)国勢調査

基本目標3
若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかえなえる

図11 男性の家事・育児時間の国際比較

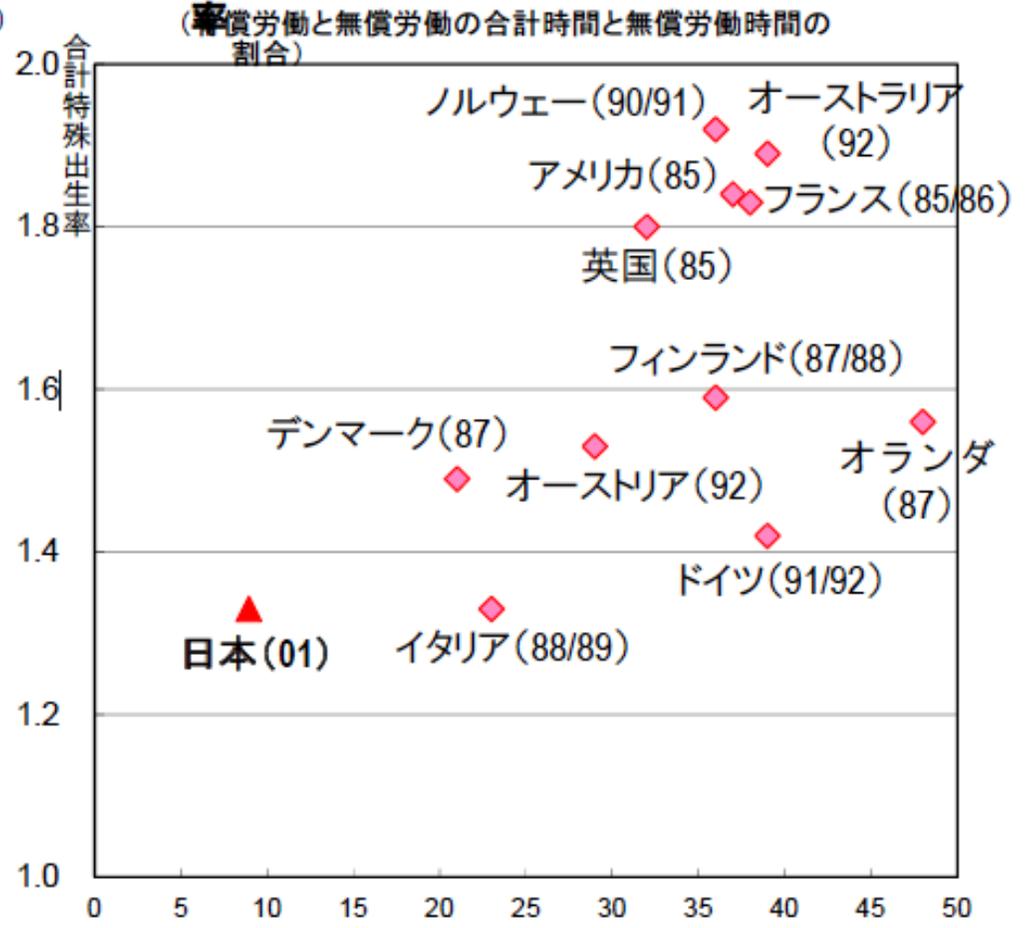
我が国の男性の家事・育児に費やす時間は世界的にみても最低の水準であり、男性の家事・育児時間割合が低いと出生率も低い傾向にある。

5歳未満児のいる夫婦の夫の育児、家事時間(1日あたり) 0.0 1.0 2.0 3.0 4.0 (時間)



資料: OECD Employment Outlook 2001
総務省「社会生活基本調査」(平成18年)

先進諸国の男性の家事・育児時間割合と出生率



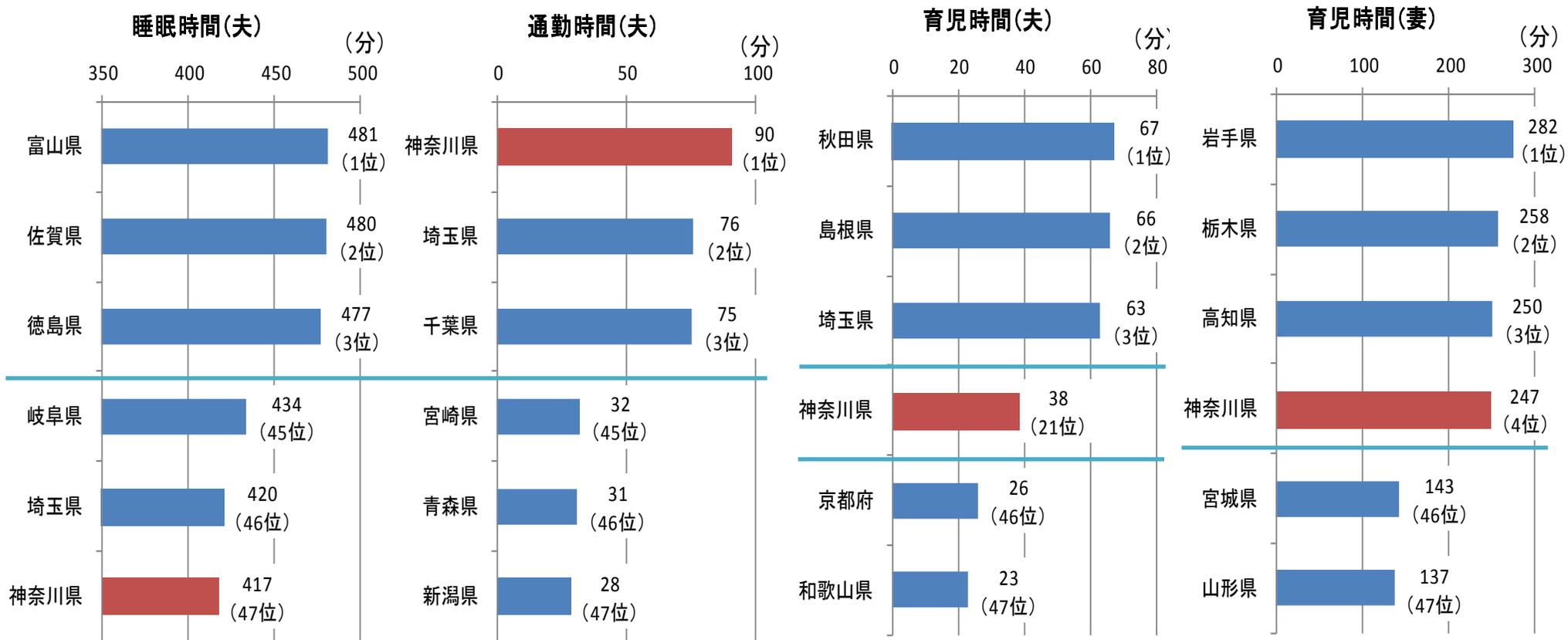
資料: UNDP Human Development Report 1995 (『人間開発報告書 1995』)、総務省統計局「社会生活基本調査」(平成13年)

(出所)文部科学省講演資料から抜粋

基本目標3
若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかえなえる

図12 都道府県別の夫婦のライフスタイルの比較

神奈川県の一一般的な夫婦のライフスタイルを他県と比較すると、夫の睡眠時間は最も短く通勤時間は最も長い。育児時間は夫は平均程度で、妻は上位に位置している。



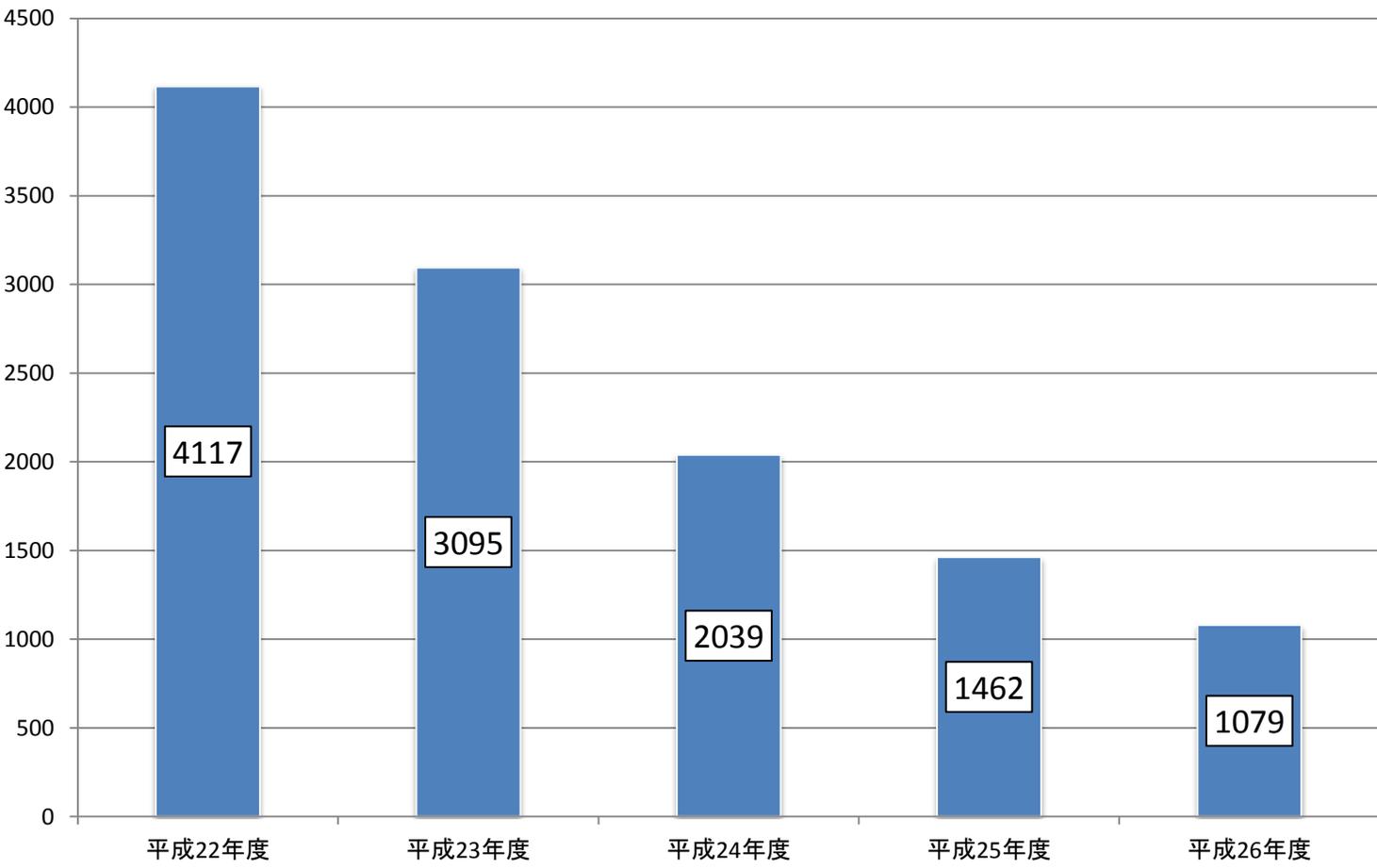
(出所)平成23年社会生活基本調査

基本目標3
若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかえなえる

図13 待機児童数の推移

神奈川県における保育所における待機児童数は、着実に減少しているものの、2014年4月時点で全国4番目の規模となっている。

各年度4月1日現在の県内保育所の待機児童数



全国の保育所の待機児童数

都道府県別の待機児童数 (2014年4月時点)

1位: 東京都	8,672人
2位: 千葉県	1,251人
3位: 大阪府	1,124人
4位: 神奈川県	1,079人
5位: 宮城県	978人

(出所)厚生労働省

(県民局発表資料から作成)